

昭和四十五年(一九七〇)十二月、山口線にATSが使用開始された。昭和四十七年(一九七二)、旅客列車は全車気動車になり無煙化され、翌四十八年九月三十日、D51がけん引する「さよなら列車」を最後に山口線からすべての蒸気機関車が姿を消した。ところが同五十四年八月一日からSLの復活が実現し、昭和十二年生れ四十二歳のC571号機「貴婦人」が「やまぐち号」として山口線を走ることとなった。

山口線の歴史



※「宮野八百年史」から抜粋

『宮野八百年史』のご紹介

『宮野八百年史』をご存知ですか？
昭和56年に宮野八百年史刊行会が発行した書籍で、宮野地区の歴史、史跡などを知る上で大変役立つ一冊です。

この年史は宮野地域交流センターの図書室で閲覧することができますし、1冊1千円で販売もしています。興味のある方は是非お手にとってご覧ください。

※左の内容から、平成29年7月1日が宮野駅開業100周年ということになります。詳しく見ていくと、思いがけない事実が分かるかもしれませんね。

【問い合わせ】宮野地域交流センター
(TEL 928-0250)